京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久伸一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

謹書

●韓國燈臺の不取締 神戸碇泊 湖州丸乘組員

韓國沿岸航路の安事も各所標識設置の爲め吾人航海者は多大の幸福には相違なきも中に二三如何はしき標識の存在するは遺憾なり是當局者に於て監査の不行届と燈守の選擇宜しきを得ざるとの結果に依るものにして巨文島燈臺の如き蓋的不動燈に變化せる西岸大同江入口草島燈臺に於ける殆んど有名無實の器燈にして吾人毎航海燈火を認めしこと稀なり依て之が元由を探究せしに孰れも燈守の怠慢言語道斷所謂韓國式の者共のみにして就中ピーバル島燈臺燈守の如きは其職に經驗なき未熟者にして器械の取扱ひだに充分會得せざる小學生徒上りの一書生を以て之に任せしめ燈臺の事業は遊戯的に執るが如き聞くだに寒心栗を生ずる危險事ならずや尤も同所の燈守は初點以來の惡風を襲ひ忠實のもの當てなしと云ふ告示許り立派にても之を取扱ふ番師惡物にては航海者の危險計り知るべからず請ふ幸に反省ありたし今に於て改善其實を擧ぐるに非ざれば何進んで島燈臺局長の非政も併て素破抜き公然社會の制裁に訴へんとす是一國一船の私事にあらざればなり

雜錄

日露協約の影響

△某外交通談

極東の形勢を一變せしむる上に於ては更に新紀元を劃すべき日露新協約が國際間に如何なる影響を及ぼすべきかは此際何人も知らんと欲する所なるが予の見る所に依れば該協約は日英攻守同盟と相俟て一層東亞に於ける平和の基礎を鞏固ならしむるとは言ふまでもなく仔細に研究すれば慈善の關係は之が爲に倍々改善せられ而して事の異相は姑く措き第一第二の日英同盟も要するに露國の満韓及び印度に對する企圖に對抗して各其の利權を擁護せん爲に成立したりと推定されたるに爾後英露は亞富汗波斯の懸案を解決して先ず印度の背面に於ける紛爭の根源を一掃し又日露は千九百七年の協商を以て固く其當時の地歩を基礎とする現狀維持を約し而して茲に再び兩國の領土保全及び既得の權利並に利益の保護に就て共通の政策を定むる協約を結びたるが故に日英同盟は見方に依りては當初と其方向を同ふせざる部面に對してのみ其效力を示すと思はるゝまでに平和的影響を受け亦入九年前までは露國の極東經營に對し日英米は協同して之に反對すと目せられたるに今は局面全く一變して日露は米國の極東政策に對して警戒すと信ぜらるゝのみならず日英同盟も日本の利益及び權利が満韓に於て侵迫さるゝ場合は之を救濟することを聲明せる爲に是れ亦其半身は何時か對米同盟に變質せる如くにも思はるべきものとなり斯くて又米清接近説も又た勢力を失ひ尚目下再考中なりとの説すらありナックス氏の満洲鐵道中立案の如きも其立案の原因が日露の再衝突の豫防にありたるだけ根本的に其立脚點を失ひ是に東洋の形勢は十年前には何人も夢想し得ざる一大變化を呈したりと言はざるべからず併し日米の親交は之れあるが爲に渝ることなく英米の關係、露米の關係も同じく舊に依は論を俟たざるべし

砲と火藥の改善

砲術に精通せる某海軍將官は語つて曰く帝國海軍の擴張は政府局當の努力よりも寧ろ輿論の力に依つて愈々斷行されんとするの形勢あるは實に快心の事に屬す蓋に海軍力の擴張若くは補充と云ふも國防の大計畫大方針は今暫く之を云はず其の實行に關しては經濟財政上の關係は勿論船渠の費用設備、港灣の深度、軍深設備の變化、載砲の製造火藥の改善等幾多重要なる關係事項に渉りて調査考量せざるべからず嘗て戰艦の吃水線全部に施されたる十八吋の帶甲鋼鐵板は其後鋼鐵の改善に伴れ薄くして抵抗力强きもの發見されたると速力増加の關係より現時に於ては十二吋を以て尚且つ最も厚きものとなし舷側吃水線全部に施されたるものは其主要部分と主砲其他致命部に限りて施さるゝ事となれり之れに對する砲の威力に就ても幾多の變遷改良を試みたる結果は五十口徑十四吋砲さへ米國建造さるゝに至りしが更らに火藥の研究に至つては局外者の殆んど窺知し得ざる程微妙なる進歩と改善を見たり左れど最良の無煙火藥は威力に於て驚くべきものあると共に有煙火藥に比しては保存に困難にして危險の度高く尚最も注意すべきは砲の命數を減殺する事多くして列强海軍當路の共に頗る苦慮する所なり要は有煙に比し危險の度薄く而かも威力に於て卓絶せる理想的火藥を得んとするにあり彈丸の重量火藥の威力砲の口徑速度及び發射數砲の命數等は所謂大艦主義に隨伴すと云ふよりは寧ろ先決問題として孜々研究を重ねられつゝあるが專門に屬するを以て一般國民の殆んど閑却し居るが如きは遺憾の事なり現に近く行はれんとする帝國海軍力の補充問題に就ても此種の研究は一重要事項たるべし云々

韓鐵分離は虚說

韓國鐵道を鐵道院より分離して拓殖局の管轄たらしめんとの說あれども右は全然無根なり韓鐵を統監府の所管より分離せしめ鐵道院の下に移し以て本邦と満韓運輸機關の統一を企てしは昨年にして今や漸く其の端緒を開きしに過ぎず然るを復た所管の變更を爲すは徒に朝令暮改の譏を買ふのみにて鐵道統一上支障を來たす譯なれば斷じてさる計畫なしと云ふ

通信所管變更

現韓國鐵道を再び韓國行政部の管下に移さるべしとは最近内地新聞の頻りに喧傳する處にして後藤鐵道院の如きも既に之を公明し居れば早晩實現の機到達するを見るべし而して此必要を誘致せる動機は韓國財源の爲めなるが如く唱へらるゝも實は然らずして全く寺内統監の治韓政策に基き彼の議會の協賛を經たる十一年計劃は餘りに永きに失せる爲め之を八箇年位に短縮せんとの希望あり旁々現制度の總て内地を基礎として財政上の都合の爲めに屢々變更の厄に遭遇するが如きありては治韓の要道と相伴はざるより是非とも之を實行せんといふにありと必ずしも財源の爲めのみに非ず同時に政府の大方針は政時期到來せば韓國内の事は一切總て新設行政部の所管とし特別會計の下に之を遂行せんといふに内定し既に現逓信省の所管に屬し其歳の歳出は同省に編入され居る通信管理局も之を移轄さるべしと云ふ尚は韓國の現狀にては獨立を見るの機は遠き將來に屬するをての行政を茲に移し來るも到底財政的以て現在注入の程度までは補充を要すべしと云へり

講談

越後傳吉

大岡政談 第十八回 旭堂南陵講

斯ういふ工合に傳吉は流連をする客と見ると直に意見をする、不寢番象異見番といふやうなものになつて了つた、客の方でも誰いふとなしに傳吉のことを三浦屋の御異見番といひ囃し中には種々な事をして喜ぶものがあるので甲『オイ乙『チ、甲『三浦屋で流連しやう乙『何故甲『向ふに傳吉どんといつて田舎出しの人間が居るそれが意見に來るよ乙『フーン甲『御異見番の傳吉だ一度傳吉の異見も聽いて見やうぢやアないか乙『面白い』傳吉の異見を聽くがためにわざ〳〵流連をして見る奴がある、ガラリ傳『御免なさい甲『御異見番ざうぞ此方へ……』御異見番なんて大久保彦左衛門と間違へさうだ、傳吉が二階に居る間はもの〳〵三日と流連をさゝない、隨つて斯うなると傳吉の評判が宜いから貰ひが多い、といふのは流連をさしてくれないで其人が首尾の惡いところが首尾よう濟んだ今度遊びに來たときには客『一寸御異見番を呼んでくれ』傳吉が來ると客『イヤ傳どん先日はよく異見をしてくれました、二日も遊んで居やうもんなら飛んでもない失策をやるところだつた、イヤ大きに有難う是は少ないが……傳『ナニ私アこんなものは貰ねへだ客『マア宜いから取つといてくれ』と二歩くれるといふやうな譯で貰はぬといふのを無理に渡すやうな次第、ところが傳吉は宜いが他の中を働いてる野郎、其俗に之を妓夫太郎と稱へます、この連中が皆怒つちまつた○『オイ△『エ、○『何うも世の中に彼のくらゐ馬鹿氣た奴はあるものぢやアない、吉原で奉公して居ながら流連をする客を取つ捉まへて異見をするといふ、飛んでもねえ眞似をするぢやアないか、成ほど異見をされて歸る客の首尾が宜いといつて彼奴に餘計な御祝儀が出るつてが、此方等が詰らねゑ、ナア▲『大きにさうだと△『また如何に番頭の安兵衛が氣に入つてるかは知らねけれども、彼んな奴が一人でも居つた日にやア乃公等金儲けが出來ねゑ、何とかしやうぢやアねへか▲『宜からう○『斯うしやう幾ら氣に入て居らうが大勢と一人には替へられない▲『さう〳〵○『此方等ア皆な手を組み連中までも味方に引張り込んで、番頭の處へ出掛けるんだ▲『フ、○『傳吉に暇を出してくれるか、我々に暇を出してくれるか、と斯う話掛て見やう▲『フム〳〵○『さうすりやア仕方がねゑ、田舎者は直ぐ免になつてしまふ、成りやアそれで此方の思ふやうに今まで通りの働きが出來るんだ▲『なるほど、宜からう、さうしやう』と若い衆の方で相談が決まつたから二階で働いて居る女衆に話込むと、れ婆さん連中も承知したから總名代に一寸揃の立つ源吉といふ奴が、番頭安兵衛の前へまゐりまして源『エ、番頭さん安『オ、源どん何だね○『ヘエ番頭さん△『ヘエ番頭さん』大勢の者が、ズラリと其所の處へ列びました、安兵衛は驚いて安『コレ〳〵何だね、れ前さん方は皆揃つて源『エ、早速ですが、アノ傳吉どんの事でございます彼は甚く番頭さんの氣に入りますかは知りませんが、私共の方では一向氣に入らないんで、といふのは斯うやつて稼いで居ります限りはれ遊びにれ來でなさいますた客さんを、商賣づくでございますから、懷中に八十兩の金を持て居るど見りやアその八十兩を悉皆遣はして了ふため二日遊ぶ處を三日も四日も流連をさせ、なるたけ金子を費はすやうにするのが我々の勤め、また樓主への忠義です、ところが彼の傳吉奴、もうれ客がもう二日と流連をすると、イヤに正直振つて、異見をします、之れが抑も間違ひであるぢやアございませんか』と今日でいへば先づ排斥運動の序幕を開きました

東京電報

▲學生露國觀光 東京外國語學校露語科生徒の一團より成る西比利亞觀光團は鈴木教授の引率にて本日上野驛發敦賀を經て渡露の途に上れり（同上）

▲帝國大學行幸 聖上陛下には本日午前十時御出門帝國大學卒業式に臨御あらせられ生徒の製作品其他を御覽あり優等生には銀時計を御下賜あらせらる（十一日）

▲韓儲の御暇乞 韓太子には來る十三日午前八時三十分御發京都及山陰山陽地方行啓に就き明十二日午前十時半參內兩陛下に謁見御暇乞を言上あらせらる（十一日）

▲徳川侯の光榮 長き邊りにては故徳川照武卿生前の功勞を思召され特に勅使として東園侍從を同邸に御差遣左の御沙汰を賜はれり

御沙汰書 [illegible]

▲條約終了通告 [illegible]

▲釋宗演師巡錫 [illegible]（同上）

▲徳川照武卿葬儀 [illegible]

▲曾禰子爵を慰問 [illegible]（同上）

▲國民黨支部發會 [illegible]

▲小切手振替貯金 [illegible]

上海電報

▲湖南暴動熾盛 [illegible]百名を增遣せり（十一日）

桑港電報

▲運河工事開期 パナマ運河は明年一月一日より工事を開始することに決定せり（十一日）

▲米墨飛行條約 米國墨西哥兩國政府は空中領域の爭議を避けん爲め兩國間に空中飛行機に關する條約を締結せんとす（十一日）

伯林電報

▲日露協約歡迎 獨逸諸新聞は日露新協約を以て極東の平和を更に鞏固ならしむるものとし歡迎すると同時に又た之れにより滿洲に於ける獨逸國經濟上競爭の制限を設けざらん事の希望を保留せり（同上）

▲土國陸軍擴張 土耳其政府は軍隊編成改革し從來の七個軍團を十四個軍團に增加するの計畫有[illegible]

雜報

協約と犯人引渡

日露兩代表者間に四日調印せられたる協約中には犯人引渡の條項をと包含せる由なるが從來各國の罪人引渡條約に於ては露國の虛無黨の如き政治犯に就ては何等規定する所なく又革命黨員の如き他國に亡命して其罪を免るゝを常と[illegible]協約に於て總ての政治犯[illegible]兩國互に引渡す旨を規[illegible]して然らば是れ實に世[illegible]約に新生面を啓きたる[illegible]今日迄は彼の韓國の無[illegible]ラエウスク若くは哈爾[illegible]監政治を云爲し或は排[illegible]機會あらば不穩の擧に[illegible]に對して日本は直接之[illegible]す露國に向つて之が處[illegible]の權利もなく保安上頗る[illegible]ありしに本條約に於ては[illegible]に確定せば直に露國に[illegible]縛し得べきを以て統監[illegible]ひ本條約が多大の効果あるべしと

司令部の重要會議

[illegible]たる十三道憲兵隊長は[illegible]を以て明石司令官は十[illegible]令部に各隊長を會合せ[illegible]官、石塚參與官、市原韓[illegible]官、局長等に出席を請[illegible]各所管の專門事項に就[illegible]に有益なる說明及び講[illegible]を以て十一日は午前に鈴[illegible]に宇佐川總裁切實なる[illegible]み猶は在京の各分隊長[illegible]監部各高等官も隨意傍[illegible]

山縣副統監の訓示

[illegible]警備機關運用方針に關[illegible]示を下すため明石憲兵[illegible]兵司令部員並に警務總[illegible]十三道憲兵隊長兼警務[illegible]後一時より統監官邸に[illegible]

東京電報

▲統監の着任期 [illegible]（十一日）

●寺內子爵の訪問 [illegible]寺內統監は[illegible]記官は今朝何れも片瀨に[illegible]

●慶北管下堤堰修理 [illegible]堰の數千百十八個の多きを[illegible]道に於ては第一位を占め[illegible]たるも十數年來更に堀浚の事なく爲に土砂崩く堤堰貯水量は著しく減殺せられ殊に昨年の如き旱天に當りては農家の慘狀言語に絕せり夫に就き當局は本年三月以來水利關係者を督勵し堤堰修理を奬勵したる結果三百十七所の浚渫を擧へ灌漑上至大の便を得るに至れり

●實物教育法の効果 平安觀察道に於ては教育奬勵の目的を以て幻燈蓄音機を購入し各公私立學校をして順次に之れを使用し尙展覽會を開きて地方父兄學生の向學心を刺激せし處意外の成績にて安州普通學校の如きは昨年迄到底就學せしめ難かりし學生の新に入學を出願せるもの六十六人に及び又例年尤も學徒募集に困難を感せし平壤普通學校は每晩此幻燈使用就學勸誘の演說會に父兄母子學徒の群集するもの約三千人に達し入學志願者頓に增加し男生百四十名女生徒五十三名の新出願者を出し又鎭南浦普通學校にては新に入學又は耶蘇學校より轉ずるもの男五十二名女二十四名に達し耶蘇學校にては多少恐慌を起し來る等各地共韓人に對する實物教育の成績は豫期以上の効果ありて民心大勢の趨向も頗る大なるを確め得たりと

●本願寺勅額奉安式 南山本願寺には去る明治三十九年十一月十七日本堂落成の當日時の韓皇今の太皇帝より大韓阿彌陀本願寺の震翰下賜ありしが今回之れを扁額に調製して本堂內本尊前に安置する事となり十二日午後二時日韓主なる文武官並に民間有志者を招待し盛大なる奉安式を擧行する由にて一般參拜者も可成多數なるを希望し尙ほ式前には煙火の打上げあるべし因みに大谷派本願寺と韓國との關係は三百年來の久しきに及び殊に韓皇室と南山本願寺との間には關係深厚なる歷史を有する由

●歸國留學生の行動 暑中休暇の爲めに目下歸國中の韓國留學生は總數五十二名なるが彼等は孰れも學部派遣以外の徒輩にして時勢遲れの愛國熱にかぶれ徒らに切齒扼腕するのみにて稚氣寧ろ愛すべきものなり而して歸國後多く京城に留まりて三々伍々各處に密會し居れるが彼等の最も賴みとする先輩連の意外に沈着なるより今更の如く打驚き中には其非を悔み居るもの尠からずと云ふ

●行政區畫の廢合案 地勢と交通機關の便宜に依り各郡面洞の廢合は逐次擧行せられ郡は已に三百三十八個に併合し尙引續き減少の餘地あることとなるが若し時局の統一と共に地方行政の改革を行はれ施政機關の整頓を圖る時は先づ觀察道は三個を減して十ケ所とし郡は一觀察道約二十五個として二百五十郡衙位に併合するを以て最も適度とするならんと云ふ

●昇給警察官の杞憂 警察事務轉營の爲め現警察官に多數の罷免者を見るべく杞憂されし折柄六月三十日付を以て韓國政府の昇給辭令續々交付さるゝより是亦近々大地震後の再震ある前兆なりとて戰々恂々たるもの尠からざる由なるが聞く處によれば右は前官相當の資格を以て統監府に任用する手續なる爲め進級年限に達せるものは此際全部昇給せしめたる次第也

●巡査補の制服改正 警備機關整頓せられたる以上巡査補たる韓國人が其帽章に李花章を附する如きは此が統一の面目に反する嫌あるを以て幸ひ被服新調の時期にも際したれば巡査補の服制は新に案を立てゝ改正せらるべし

●滿鐵沿線の小學校 滿鐵の經營に係る小學校は安奉線に在りては本溪湖、橋頭、草河口、鳳凰城の各分教場、本線に在りては瓦房店、熊岳城、大石橋、海城、遼陽、千金寨、奉天、公主嶺及び長春の各分教場にして現在生徒數は千二百名に達し尙は漸次增加の模樣なりと云ふ

韓國實業社支店

資本金　三十萬圓（拂込濟）
借入金　十餘萬圓
積立金　四萬圓
前期配當　（八朱）
社長　鎌田勝太郎
京城支店長　岡田淸一

本社は香川縣に置かれて在る、抑もの目的は農業の經營に在るのである夫れで木浦附近の田地を買收して事業に着手した、併し事業の性質からしても初めから相當の收益を見ることは出來ぬ、故に利子補給の手段として京城に支店を置き、此處で金貸しを始めた、當初の成績は中々良好で毎年二割以上の配當を爲し來つたのである、處が一昨年以來の不景氣には相應打擊を受けたのど、怯ぢて手控へをしたので前年度には八朱の配當に落ちて了つた、現今は貸金を手控へして貸家の經營、これは重に擔保流れで、云はゞ惡緣に繫がれたのである、此頃では西大門外に部分林を仕立てる積りで五十餘丁步の許可を得てゐる、本業の木浦農場では最初上等の熟田を買入れたので豫期以上の好成績を收めつゝあるのである、之れは好き見込みであつたと信ずる、殊に小作人との折合も善く、小作米の收納も九分六七厘方に當ると岡內君の說明は詳細を極めた、尤も此の會社は一年一度の決算で敍上の數字は三月末の決算が示す處のもので夫に現在の營業狀態を摘記することゝ仍而如件

●軍艦千歲仁川入港 機關練習艦千歲は豫定の如く十二日正午旅順より仁川に來航する筈なるが仁川民團は乘組の機關候補生六十餘名及び艦長以下各將校に對し夫々物品を寄贈して歡迎の意を表すべしと

●定例大臣會議休會 十二日は統監邸に於ける大臣會議の定例日なるも別記の如く山縣副統監は憲兵隊警務總監部の高等官を召集し訓示するを以て同日は特に休會する由

●平安兩道害虫發生 平安南北道は毎年害虫の發生激甚なる地方にして當局者も深く憂慮し是が撲滅策を講じ居れるが本年も亦發生し次第に蔓延の徴あり兩道より發生狀況に關する報告左の如し

平壤勸業模範場出張所
當地方粟高粱等に夜盜虫發生し蠶[illegible]の徴あり發生多き處に於ては一莖一幼虫（長五分內外）位の割合なり

義州模範種苗場長
義州地方に粟夜盜虫發生し目下第一頭發生せしものあるも概して二十日が發生多し其早く發生したるものは第一齡を終る頃より主として葉內を蝕害せるも其被害の度見へざるを以て農家一般に平然として憂慮するものなく本所より及ぶ限り注意を促し[illegible]

●參與官會議の開催 十二日午前十一時より統監府に於て定例參與官會議を開く由右は山縣副統監着任後第一回の會議なるを以て副統監も列席する由なり

●伊國軍艦馬山入港 伊國軍艦カラブリア號は十一日午前宮津港より馬山港に入港投錨したるが十二日拔錨長崎に向ふ由馬山理事官より統監府に宛て電報ありたりと

●特許局の移轉工事 今回統監府構內に建築せらるべき廳舍は永樂町に新築の筈なる特許局を都合上移轉するものにして本廳增築等の意味を有するものに非ざる由

●東拓出張所の新設 東拓會社にては全北、忠南に於ける同社の事務を管理する爲めに十一日より忠南江景に出張所を新設したり

●鮫島代議士入京 鹿兒島縣選出代議士鮫島慶彥氏九日入京天眞樓へ投宿

土地調査の近況

富平陽泉二郡に於ける試驗的調査は着々進行の步を進めつゝあり其調査槪況は調査局開始に先ち豫備調査時代に於ては三千四百廿九筆反別千五百六十七町九反〇廿四步而して開局以來六月末日に至る分は八千二百〇八筆なれども境界及反別は今や調査中に屬せり正式調査は土地調査法發布に俟つべきは無論なるが權利の設定其他諸般に亘り內部は農商工部と協商を要する項件多く目下疑議中なれば同解決の上調査法編成の順序となる總して一般人民中往々誤解せる者鮮からず是に就き俵副總裁は先月十一日富平郡栖棚洞に出張し調査の異議と誤解に對し諄々懇諭する處あり爲に大に誤解を解むるに至りしが一般の誤解は土地調査を以て租稅徵收の前驅となし或は政府誅求の材料に資せん爲なりと解し又從來無稅地たる山林に課稅さるべし抔なるが就中今回の調査は宅耕地に止り其耕地に介在する少許の山林原野を除く外一般は經費の都合上除外さるべしと

降雨と稻作豫想

韓國に於ては旱天の時は八月に入りて稻の植付をなすこととなきにあらず斯る時は固より充分の收穫あるにあらざるも尙ほ平年の收穫あり過般の降雨は全國を通じて植付に申分なき効果を與へたれば今日のところにては稻作は先づ豐作を豫想して可なり地方に依りては幾分の水害を被りたる所なきにあらざるも稻の植付に與へたる効能に比すれば固より論ずるに足らずと當局者は語り

韓國釀造の酒類（鳥井釀造試驗所長談）

▲藥酒● 先回試釀の分は既に全部販賣を擧り先程又た第二回の造込をなせり今度は原料の麴も試驗所釀造のものを用ひ今や既に醱酵も擧り滓引の工程中なるが風味は第一回に比すれば一段の佳良を加へたり元來藥酒は含包蛋白質の加減により保存上加熱の餘地なく殆ど絕對貯藏の途なきものと思惟されたりしも試釀物に徵するに貯法其法を得は相當期間の貯藏に堪ゆるが如し由來酒の酸敗期は氣溫廿四五度の間則ち初夏及秋季夜間二十度前後の氣溫十日間位なるも前三回の試驗場は依然として那等の變化を來さず

▲莓酒の試驗 本年は櫻桃の代りに莓酒の釀造を試みたり則ち六月十八日一石二斗の原料を用ひたるが是亦た滓引最中なるが要するに是は淸涼飲料にしてテーブルワイン及デザート用なり成分は林檎酸の多量及少量の菓物通有なる枸櫞酸酒石酸を含有せり糖分は四パーセントにて林檎酸の含量多きは胃腸病に利あり

▲杏酒● 七月二日杏五石の原料を用て試釀に供せり杏は元來酒石酸に富めるが是はブランデー類似の物を得るへし

▲韓人の日本酒嗜好 日本酒は多少の木香を有し是かまた日本酒の風味の上に最大の要素たれども西洋人は固より韓人向は此木香を嫌忌する甚し併て新酒の如き比較的木香の稀薄なる者は頗る韓人の嗜好に適するが如く現に三南地方にては上等藥酒と稱し日本新酒の賣行盛なりと聞く實業者に於て此邊の消息を心得釀造するに於ては新華客擴張の上に面白き發展を見るならん云々

●機業傳習の好成績 農商工部の着手せる機業傳習は目下敎師二名を派し其一は慶尙北道尙川に在りて小林敎師擔任の下に指導せしめつゝあるが其成績頗る良好にして如何に實物教育の抽象的教育に優れるかを窺ひ知るべきを以て茲に其經過を報道せんに機械はバッタン機を適用し又之に要する一切の原料も同部より提供して五臺を据ゑ付け內三臺を男生とし二臺を女生とし不取敢二十名を募集せり然るに案外の好人氣にして三十六名の應募者ありたるを以て其內より選拔を行ひ先づ綾物を教習せしめたるに當初の間は手慣れの機械の事なれは其進步頗る遲々として一疋を仕掛ぐるに十五日以上を要したりしが現今にては一日一疋を織上ぐるに到れり而して教習の目的は婦女子の副業を授くるに在れば可成婦人を歡迎せるに彼等は日本人の爲めに手を握らるゝを厭ひ甚しきは淫賣に供せらるゝ抔と荒誕極まる噂を爲すものありし爲め非常に困難を感ぜしも實地教習を受けたる結果は何等其事なく懇切丁寧に教授を受くるより孰れも熱心に之に從ひ且つ技術の精緻なる到底韓國古來の比に非ざるを以て老幼男女相率ゐて之を見物し多大の効果を奏したりと而して現在は假傳習所なりしが土地の有志者相謀り永久的の傳習所を設けんと目下計劃中なりと云ふ

龍山通信（十日 支局報）

▲一昨十一日開會せられたる京城民會に於ては前龍山民長大久保氏に對し慰勞金一千五百圓贈與の件を附議せし由

▲師團軍參謀長は今十二日軍司令部に於て將校同相當官に午餐を供する由

▲鐵道管理局に達したる報告に依れば馬山起點十七哩餘の地に於て浸水の爲め約一哩間汽車を通ずる能はず昨十一日には當日二回三浪津馬山兩驛より列車を運轉し浸水の箇所は小舟に接續したり斯る狀態なるを以て午前六時同九時南大門發列車は三浪津に於て接續するを得ず又大荷物の取扱を停止せり因に浸水は軌條面二尺の水深なりと

▲水害を被りて客車の運轉を中止し居たる釜山軌道會社溫泉場南門間の線路は應急修復工事を加へて運轉することゝなれりと

●松井前局長の出發 前警務局長松井茂氏は十一日午前九時家族同伴南大門驛發列車にて東上の途に就けり停車場には石塚、倉富、木內、小宮、俵、國分の各參與官及國分檢事總長、池田通信管理局長、菊地商工局長、中村地方裁判所長、中川檢事長、三浦理事官、軍人側にては大久保司令官代理明石憲兵司令官及山形藥師川兩中佐並に市原總裁菅原百三十銀行支店長古城民長其他文武官民新聞記者七百餘名にて見送りあり尙警察官百餘名は停車場前に整列して見送れり因に松井茂氏の東京住宅は赤坂區臺町七十五番地

●京城居留民會開催 京城民會は十日午後一時より開けるが京龍合併後に於ける第一次の民會なれば議員は殆ど全部出席し助役選定問題に就ては京城側は峰尾晉三郎氏を推薦したり龍山側にては民長は退き議長は平議員となりたるを以て助役丈けにても龍山側より出さんとて十日[illegible]古禮園氏方に會合し大村百藏氏を推薦することに決したる由なるが助役問題に就ては花々しき論戰ありしならん

●東洋日報紙又停止 九日解停されし東洋日報は又々治安妨害の廉を以て十日午後四時發行停止を命ぜられ其發賣頒布を禁止されたり

●水町財務官の來航 歐洲に於ける財政視察を終へて歸任の途にある水町財務官は十二日大連より筑後川丸にて仁川に到着する豫定なり

●荒井次官の歸任期 上京中なりし荒井度支部次官は統監の命にて暫らく歸任を延引し居りしところ統監も近日赴任に付き相前後して歸任する旨其筋へ通知ありたりと

●宇佐川氏隊長招待 宇佐川東拓總裁は目下入京中の十三道の憲兵隊長を十一日夕招宴したり

●松崎博士の西韓行 過般入京したる法學博士松崎藏之助氏は九日新義州へ向ひ出發したり

▲京城手形交換高▼

七月	金高	枚數
十一日	一〇五、三六二、七四	三三〇

▲海外法螺▼ 寺內が乘込んで來たら當來の人物や事物を滅茶〳〵に扱ふだろうなど丶、此暑いのに此頃の高い米を喰ひながら金棒をひいてつて居る馬鹿者が幾らもある、用此種の馬鹿者は下らぬ事を言觸ら人心を動搖させ、幾分にても寺內政に妨害を加へようと試みるのでう▲我半島駐屯軍の將校連は本年中休暇を廢したソウだ、之は何でい樣な事だが暑中休暇を役儀か權樣に考へて居る文官連には中々出い事だ、と云ふ文官連が怒るかもぬがソンなら將校同樣休暇廢止のをやつたらドーダ▲曾禰時代の官道樂と云つたら弄花、漁色、高利骨董イヂリ等幾らもあつたが其中イヂリが一番罪の無い分だ、トコ其骨董イヂリも此頃になつてトンれた來た、右に付道具屋連はコボ居る樣だが、みんなが眞面目にな來たのは喜ぶべきことだ▲統監邸の歡迎會と京龍合併祝賀會とを一にやるのは何人の案かは知らぬがは賛成せぬ、幾ら京城が不景氣だ迎會と祝賀會とを別々にやる入費出來よう、古城の頭はドウモ高で困まる▲日英博覽會中の[illegible]歸島までに英人の首を一ツ取り[illegible]云つて居るソウだ▲南京博覽會の[illegible]中には眞價一萬五千圓の麝香猫[illegible]があるソウだ▲韓國銀行大阪支[illegible]擬せられて居る高瀨条吉は年の[illegible]合は才半白頭の篤實ソウな男だ[illegible]道樂は相撲で、其懷中には番附[illegible]とがイッでも忍ばしてあるソウ[illegible]

▲水谷千萬[illegible]（[illegible]工業所長[illegible]中佐）十日[illegible]より入京[illegible]投宿

▲[illegible]秀吉（休職警視）十日仁川より入京巴城館へ投宿

▲川原頴悟（春川憲兵分隊長）十日[illegible]より入京佐藤旅館へ投宿

東京電報

統監の着任期 寺内統監は二十三日頃來任に決定す可く兒玉書記官は下關より統監と別れ陸路入京の筈(十日)

寺内子爵の訪問 寺内統監は昨日兒玉書記官は今朝何れも片瀬に曾禰子の病床を見舞へり(同上)

●慶北管下堤堰修理 慶北管下は堤堰の數千百十八個の多きを算し各道中其數に於ては第一位を占めたるも十數年來更に堀渫の事なく爲に土砂漸く堆積貯水量は著しく減殺せられ殊に昨年の如き旱天に當りては農家の慘狀言語に絶せり夫に就き當局は本年三月以來水利關係者を督勵し堤堰修理を奬勵したる結果三百十七所の浚渫を舉へ灌漑上至大の便を得るに至れり

●平安兩道害虫發生 平安南北道は毎年害虫の發生激甚なる地方にして當局者も深く憂慮し是が撲滅策を講じ居れるが本年も亦發生し次第に蔓延の徴あり兩道より發生狀況に關する報告左の如し

平壤勸業模範場出張所 當地方粟高粱等に夜盜虫發生し甚しきの徴あり發生多き處に於ては一莖一幼虫(長五分內外)位の割合なり

義州模範苗場長 義州地方に粟夜盜虫發生し目下第一頃發生せしものあるも概して二十日が發生多し其早く發生したるものは第一齡を終る頃より主として葉內を蝕害せるも其被害の[illegible]て農家一般に驚然と[illegible]のなく本所より及ぶ[illegible]

●公人私人

▲水谷千萬(平壤工業所長海軍中佐)十日平壤より入[illegible]より入京佐藤旅館へ投宿



殺人教唆事件(四)

▽元韓國日本人會長以下

更に被告北野が黒川に對して抱きたる怨恨即ち第一日本人會長再撰不履行、第二期工事不落札、第三談合金拒絶の三箇の原因は殺人の大罪を犯さんと決意せしむるには餘に**薄弱**ならずや况んや黒川が當控訴院に於ける證言に徴するも北野とは永き間同業者として常に往復し酒食等を共にしたること一再ならず極めて懇意の間柄なりと供述し更に**談合金の請求**は北野よりは受けたることなく**民長****再選**に就きては自分も奔走し且つ居留民間の大勢も定り居たるも何故か**理事官が認可**せざりしを以て副會長と共に自分も評議員を辭したる位にて北野も之れを諒とし當時感謝の意を表示したり然れば北野は自分を怨むべき理由なしと言明せるに徴するも明白なり而して被告**北野**は韓國にても**有名なる請負師**にして現に南山麓に巍然として聳立つ**統監府**の如きは同人の手に成りたるのにて請負師として工事の入札に際し落札せざる毎に他人を怨むが如きことなきは此れ又自明の理なり且つ北野と米田辰造との間柄は普通一遍の者にして決して大秘密を托するものに非ざるは米田自身の申立つる所なり其の米田等の**遊興費**を引受けたるは**中桐**榮太郎が米田に六十圓の**債務**を負ひ居たるより北野に**代理支辨**を囑したるが爲めにて又米田等が放蕩したるは賭博上の爭ひありし後和解せんが爲めなりしなり然るに直ちに之れを以て教唆行爲なりと認定したるは不法なり尚は米田の實弟辰造は**憲兵隊の審問**に堪兼ね**精神に異狀**を呈し遂に本事件豫審中に**死亡**したり斯の如く**不法行爲**の下に行はれたる聞取書の信ずるに足らざるは明なり如何に憲兵及び警官の尋問に非常手段を用ゐたるかは本件の被告人にして豫審免訴されたる淺井總三郎外二人の供述に依りて知るを得べしと論斷したり **岡田高橋**の兩辯護士は本件發生の原因は羅南に於ける有名なる無賴漢**水谷**清次郎にして彼れは常に亂暴を爭ふ米田辰造に或る不得利得を摘發せられたるより自己が羅南警察署**刑事巡査**佐藤千十郎の**牒者**たるを**利用**し無根の事實を密告し以て本件の如き大事を激起したり現に水谷は證人として當法廷の召喚に應せず行衞を晦ましたる事實に見て事件の無根なるを推し得べしと無罪を主張し午後二時四十分閉廷言渡しは來る十四日と決定(をはり)

駒ヶ嶽の厄歳

▽留守宅へも盜賊

東京大相撲一行東方大關駒ヶ嶽が當地京城ホテル滯在中**盜難**に罹りたる由は當時報導せし如くなるが爾來其筋に於て嚴重**捜査**に盡力し居るのは當然で格別感心するに及ぶまじ然るにても此所に感心なるは其の盜賊と云ふべく巧に犯跡を晦まし平氣の平左で居るらし西小門外の**刑事殺し**の犯人さへ未だに擧らぬ位だから此奴も**判らぬ仕舞**になるのぢやないか氣の毒なのは駒ヶ嶽にて東京の留守宅へも去る五日の夜眞正の盜賊忍び入り戀**女房銀次の虎の子**二百圓を奪ひ去つたりとぞ扨も其の重ねくへの災難に發心した銀次さん夫が巡業中は**遊んで**暮すも**勿体な**いとあつて柳橋若くは新橋の藝者屋の株を買入れて涼しい風の立ち初むる頃より**御神燈**を掲ぐる筈なりと聞いては流石に文之助好い氣はしまい

感ずべき人力車夫

▽渡る世間の佛夫婦

仁川桃山町二丁目居住の原籍京都府北桑田郡鶴ケ岡村佐々木正夫(二八)は去る九日赤痢病に罹り直に仁川病院分院に收容せられたるが時節柄市民一般は注意すべき事共なり茲に賦すべき佳話あれば序を以ち報せんに右政夫は客月上旬初めて渡韓し仁川に於て奉公口を詮索の結果本月四日仲町三丁目の菓子商滑月堂に入込む事となりたるも或事情の爲め同七日同室より暇を取りたるが其後身を寄する處とてあらねば殆ど流浪裡に日を暮し居たり然るに右滑月堂に奉公中不圖せし事より知己になつたる花町三丁目の人力車夫廣田源太郎と云ふが政夫の途方に暮れつゝあるを見るに見兼ねて自宅に連れ歸り何に彼にと世話し居たるが同人宅は車夫風情とて狹隘なれば桃山町の一家を借入れ之れに住はする事になしたる程に去る八日より發熱甚しく容体只ならぬにぞ源太郎の女房なるとせは最と手厚き看護をなし翌日高木醫師の診察を求めたるに全く赤痢と判明したるものなるが人情輕薄の世の中に此の車夫夫婦の情あるは感嘆すべきなり

米國婦人の勝訴

▽鐵道院賠償金を拂ふ

去る卅九年新橋發神戸行の東海道列車が大高驛に於て衝突したる際乘客なりし横濱在留の米國婦人フランシス・デ・カーロー(五三)が其音響に驚きし上强く頭部を窓に打付けたる爲め腦震盪を起し爾來神經衰弱症に罹りたりとの理由を以て**鐵道院總裁を相手取り**將來の慰藉金及び當時の治療代として**一萬餘圓**の損害賠償金を要求したる訴訟は第一審にては理由なしとて棄却され更らに**鳩山博士**を辯護人として**控訴**したる結果慰藉金として**一千六百圓**を支拂ふべき判決ありたる事は既報の如くなるが**鐵道院**にては此判決を不服として**上告**し大審院にて其後引續き審理中なりしが七日午後前判決通り支拂ふべき事となれりされ鐵道院の**上告全部を棄却**と云ふ韓國の鐵道管理局もヤア成る丈け氣を附けないと此の種の訴訟が續出すべし、と云へば口の減らない先生方なれば「ナアに夫れには及ばない大審院の判決例は**韓國**には**効力**が**無**いからね」と反身になるかも知れたものでなし

●兩親よりは良人 和歌山縣和歌山市岡氣町二十九番地川端權太郎長女ひさゑ(十八)は昨年十二月無斷家出せし儘行衞不明にて兩親其の他親類の者は心配して捜査せしも不明なるより困却中韓國の或る知人よりひさゑは初音町居住の奥野鶴次郎の內緣の妻となり居る旨通知に接し天に昇らん許り喜び早速其筋に對し親元には父權太郎は日雇稼ぎを以て日々の糊口を凌ぎ居るにひさゑの實母此の頃病氣に罹り妹は幼年にして病人の看護も出來ず非常に困難に付是非歸國す可き樣說諭願出しに付其筋に於ては諸所捜査の結果西部管內太平町人力車掛溜組出張所主任奥野鶴次郎の妻なる事判明に付双方呼出し歸國方說諭せしに奥野は事情を聞き歸國旅費を與へ歸さんと唱ふるもひさゑは奥野と離れる事は出來ぬ故斷然歸國せぬと主張するより其旨當該官署に回答せし由なるが定めし兩親は落膽するならん

●車掌も善くない 山口縣都濃郡下松町二百十九番地當時本町十丁目八番戸內部調査課測量人夫宗本安海(二三)は電車第二十四號が東大門より麻浦へ向け進行中西大門際にて該電車の後部に危險豫防の爲め付けある鐵網に飛び乘らんとするを車掌金斗星是を認め危險なりと聲を掛け之を制せんとせしに聞き入れず强て飛び乘りたるより車掌は上より宗本の頭部を撲りしを以て宗本は憤慨して該電車が西部署前に停車するや拳を以て車掌を撲り互に爭鬪となり西部署に於て說諭放免

●女に丈け强い男 南大門通り三丁目中村幸常は妻並に妻の知人櫻井町百十四番戸藤元とき(三〇)と共に九日午後十一時頃本町三丁目圓城呉服店前を通行の際赤門通り村西雅勝(三〇)なる者とときに突き當り其の上喧嘩を吐き掛け暴行を加へんとするより中村が之を制せんとしたるに反抗するより南部署に持出したるに村西は酩酊の結果斯の如く亂暴せしより將來を訓戒して放還

●果して詐欺師か 中部校洞二十七統十一戶閔大植は煉瓦造家屋建築の爲め土臺石材を知人なる植物園外務掛赤池政理なる者に周旋を依頼せしに三百五十圓にて契約を締結し內金百五十圓を赤池に支拂ひたるに石材は運搬し來らず工事着手に迷惑に付催促せしに一面識なき日本人末廣某なる者を遣はし尚ほ百圓丈け支拂受けざれば石材の引渡し出來ぬ旨申來りしより閔は憤慨して北部署に詐欺の告訴を提起せり

●暴徒の片破れか 北部延恩坊鍮山里四統五戶金允淳(四二)は銃器を隱匿し居る旨の風說あるより北部署に於て警官をして家宅捜索せしめたるに火繩銃一挺並に彈藥八個を屋根裏に隱匿し居りたるより押收して本人を引致取調ぶるに曖昧なる申立を爲すにぞ暴徒に加擔し居るに非ずやとの嫌疑にて目下嚴重に取調中なりと

●漁船へ淫賣出稼 仁川本町四丁目飲食店鬼笑亭主大西マサ(二六)は昨日午後七時頃酌婦伊東スエ(二〇)外二名を引連れて仁川稅關前棧橋に繫留せる漁船內に密賣淫を强ひんが爲めに出齒り居るを警官に見咎められ說諭さる

目と耳

▲壽座 本年三月中同座に於て開演し大喝采を以て大入を續けたる喜劇曾我廼屋一座は更に十二日より同座に其の滑稽趣味を發揮すと番組左の如し 寶の入船、腕競べ、綴れの錦、文士劇、端午の山姥等の六場

▲歌舞伎座 桃中軒十二日の讀物 横川勘平後れ馳せ一番乘り(二席)

▲浪花館 同館は前夜の讀み續き 宮本左門之助(吉川靜奴女)荒尾秀丸(浪花綾娘)掛川評定柳生朝比奈相生靈中(吉田松葉)筑前騷動田宮靈吉(吉川秀奴女)米澤評定金子春太郎(岡本伊之丸)建久美談曾我物語(義士本傳通し(吉川秀廣)毎夜兩席長講晴雨共開演

●觀世素謠月次會 去る十日倭城臺京城婦人會々場に於て同會例會を開催し頗る盛會なりし番組左の如し 皇帝(稲垣氏、妃長谷川氏、國枝氏、大臣三好氏)俊成忠則(森氏、ワレ野々村氏、催部氏)楊貴妃(村上夫人、佐々木夫人)融(井上氏、柴田氏)遊行柳(三田氏、千勝氏)歌占(安住氏、子方山口氏、男蓑谷氏)大江山(秋場氏、寺川氏、鋼吟仕舞(ヒトリ三宅氏、ワレ山齋藤氏、坂井氏、大槻氏)

●五雲會月次例會 七月十七日(第三日曜日)午前十時より京城大和町三丁目梅廼屋に於て開會番組左の如し 氷室(河合氏、ツ加納氏、阿內氏)俊寛(霧島氏、成齋藤氏、ツ島氏、大久保氏)照君(有賀氏、ツ小杉氏、松寺氏)三井寺(水越氏、子山中氏、野村氏、阿滑(毛利氏、淺井氏)番外熊野、烏帽子折(當日役割抽籤)

●小說「只の人」 去る四十年當時仁川にて發行せし朝鮮タイムスに連載せられ好評を博したる瀧閑邨氏作の小說「只の人」は今回東京淺草區下平右衞門町の岡村商店より冊子として發行せられたり定價五十錢

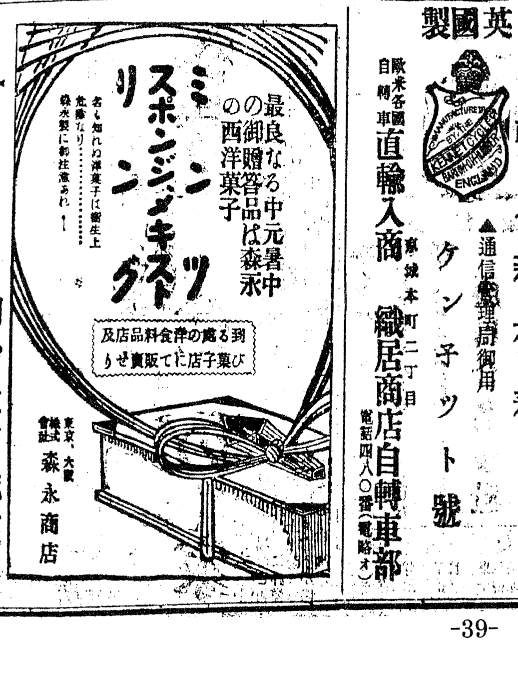
▲平民文庫▼

▲平民文庫の再興を望む風聞子小僧君盡力せられては奈何(總角生)▲總角生いゝいゝ石井洞人への字紅の鶴兄の運動効を奏して本日の出欄を見た(保)▲水道電燈浴室付**貸家**あり眺望絶佳の地庭園廣く茶室付六間あり家賃六十圓(京城本町二丁目辻屋電二四八)▲**乳母**雇はれたし御採用の御方は左記へ御一報下され度候(旭町一丁目二百八十七番地松村てつ方)▲京龍間に京城山崎土木測量學校の外土木測量を教へる所はありませんですか心當りの御方は一寸此欄にて御知せ下さい(在龍山尋問生)▲京龍間にて隆鼻術を施す所あれば當欄にて御敎を乞ふ(鐘路坊)▲南大門驛の出札掛の武久百合人と云ふ男は不信切極る返事をする男である去る七日の夜十時二十分に到着する列車が二十分過ぎても來らぬから今日は午前は一時間も遲れたが今夜は何分遲るゝかと問ふたら分らぬと答へた一体驛員たるものは列車の發着遲延位は能く承知して信切に敎へるが當然である此の如き男には驛長さん訓戒を賴む(南山生)▲貴社十日發行の治外法權の記事は痛快を感じた希くば神聖なる記者たるを忘れず堂々此方面の改良在留民の覺醒を促して貰ひたい(社會子)▲〇山小學校の〇田先生よ餘り威張ると首が飛ぶよ居留民でも敎員連でも君に味方するものは〇長外一人もない事を知らないで頭に乘ると續々攻擊するぞ彼が受持の六年卒業生で統監府中學校への入學試驗を受けた者が十九人あるが一人も入學した者がない彼の無能は此を見ても知れる(一父兄)

今日の運勢 七月十二日 舊六月五日 七赤 佛滅 戊寅 危 △一白 新事大事は不可其他大抵吉 療病衞生上注意すべし△二黑 基礎を作る日 開始着手に吉 旅に行商探險修交通商に佳△三碧 新事議識の事見込なし 女色酒害を戒しむ△四綠 厄運日 諸事控へ目の事 婚談團結組合の事には佳△五黃 惡を施し仇を受くる事あり己れを勞して人の益となる事あり△六白 賣買取引に進んで吉 轉業轉住分業分家の事吉△七赤 厄なり 新事見合せの事 妄言無心にあわり紛失防ぐべし△八白 保證受印を避くべし其他靖寧△九紫 新事旅行見合せの事 紛爭葛藤の端起り易し

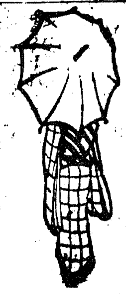
●天氣豫報(自十一日午後六時至十二日午後六時) 西の風晴

十日(華氏) 最高溫度 七五、九 最低溫度 六五、七



美術半襟・袋物・帯揚・其他袋物類各種

京城明治町一丁目　電話一千四百〇九番　▲り德商店



京城待合案内（いろは順）

入船　南山町一丁目　電話一一三五番

春日　本町二丁目横町（支那領事館前）　電話九七〇番

しくゝ　南山町二丁目入口　電話二二九番

月の家　本町五丁目　電話一〇七六番

嬉野　永樂町一丁目　電話一四四番

八島　南山町二丁目　電話一二八八番

松の家　初音町二丁目　電話一三三九番

この花　南山町一丁目　電話一〇二五番

壽　壽町三丁目　電話一一二二番

紅葉　南大門通三丁目　電話一三八二番

醉月　旭町二丁目　電話二六五番

住の家　旭町一丁目　電話六七六番

京城待合案内

移轉御披露

並ム肉（百匁）金十三錢　ビース（百匁）金十七錢

ロース（百匁）金二十錢　ヒレ肉（百匁）金廿三錢

▲鷄肉百匁三十二錢▼

今般業務擴張の爲め左記の處に移轉仕候間倍舊御引立の程願上候　移轉披露として向一週間右の直段より一割引にて差上可申候

統監府　陸軍　御用達

鳥獸肉販賣　山口商店

京城本町五丁目（元仁川松尾支店跡）　電話七百五十四番

印と刷

諸紙　和洋帳簿　印刷　各種製本

諸官衙御用

播本（ハリモト）商店

京城本町六丁目　電話百拾番

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり

一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りん病、よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき、腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり

貸席

京城本町一丁目郵便局前

鐵冷温泉

電話千四百十一番

旅館

京城南山町三丁目

京城ホテル

電話長一二三番　四九二番

日本室和食

特等（一圓五十錢／三圓五十錢）

一等（一圓二十錢／二圓五十錢）

二等（一圓／二圓）

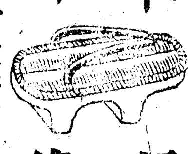
三等（八十錢／一圓五十錢）



六月一日ヨリ

岐阜提灯賣出し

利益なし元價の一張二十五錢



東京足袋

本店東京

京城大和町一丁目（日の出橋際）

大和屋　藤井出張店　電話二百〇五番

明治町勸商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

京城本町四丁目

印章彫刻　ゴム印彫刻

赤帽子號印舖

電話九三番

諸官衙御用達

奥野岩太郎

中元聯合大賣出し

自本月十一日至同二十日　現金に限り

御買上げの金高に相當する澤山の御添物進呈可仕候

其他見切物並によせ切に限り添物無之候

吳服商組合

京城本町四丁目　林吳服店（電話六五二番）

京城本町五丁目　山枝吳服店（電話三二四番）

京城本町四丁目　山口吳服店（電話九番）

京城本町三丁目　圓城吳服店（電話一五七番）

京城本町二丁目　惠阪吳服店（電話七二六番）

京城本町四丁目　末永吳服店（電話六八二番）

貨物運送取扱　稅關貨物取扱

危險擔保附運送品　代金付貨物運送　貨物引換證發行

內國通運株式會社

京城支店　京城南大門驛前　電話七〇八番　電話一七九番

仁川出張所　仁川驛前　電話五一一番

釜山出張所　草梁驛前　釜山驛前電話六二六番　草梁驛前電話五三七番

龍山出張所　龍山驛構内　電話二〇六番

移轉御披露

御待合　住の家

京城旭町一丁目小森材木店裏

電話六七六番

是迄の住の家は夏の待合としてチト窮陶敷分けて日々に人目も繁き場所と相成候まゝ今度旭町一丁目小森材木店裏に新築の上移轉致し凡て夏向きに評判方の離座敷亦は夕暮の四疊半と心をこめし設備ぶり一度御來遊の上相變らずの御ヒイキを猶亦人目を忍ぶ君樣方の裏道傳へは元住の家本門通り右の小路を御見質店前に出て右に御曲りの上裏門よりと　あるじ白す

諸官衙御用

營業科目

和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐ヂシン　穀物食鹽　諸染料類

發賣元

藤田合名會社

東京ランバート商會代理店　東京中外アスフアルト株式會社代理店　東京千代田生命保險相互會社代理店　東京日本書籍會社特約店　東京金港堂發行書籍特約店　東京國定教科書共同販賣所特約店

本社　京城南大門通二丁目（電話三〇番）

出張所　東京南鍋町一丁目　東京新橋　京城南地十番　二九六三

東京火災運送保險株式會社

明治廿年七月創立　京城代辨店　本町四丁目山口吳服店電話九番

資本金一千萬圓　事務所　京城南大門通二　電話一〇六〇番

特約販賣　自製

味噌醬油製造元　漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店

（電話二五一番）

新茶　ビール　大賣出し

齒科治療

本町六丁目　ドクトル　中村安子

（簸そば横町電話一五八三）